

美原区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
美原区家庭学習推進事業		美原区役所企画総務課			
事業目的	事業効果	活動指標	H30	H31	R2
自主学習ノートの取組を、区校園長会や区PTA協議会等との連携により進め、区内児童・生徒の家庭における学習習慣の定着を図り、自律的に学ぶ力の育成をめざす。	○学校をとおして自主学習ノートやシールを配付することで、児童・生徒、保護者に向けての家庭学習の習慣づけのきっかけづくりを学校と連携して図る。 ○学校に加えて、区PTA協議会等とも連携し、区域全体で家庭学習推進の機運を高める啓発活動を行う。	ノートの配付児童・生徒数	3,324人	3,248人	3,155人
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性		
◎ 美原区教育・健全育成会議平成27・28・29・30年度提言に基づく事業である。	△ 児童生徒の家庭での学習習慣の形成には、保護者の理解と協力が欠かせず、その機運づくりには、関係団体や地域の協力も効果的である。	◎ 自主学習ノートの配布に合わせて、児童生徒の自主学習ノートの取組意欲を高めるため、美原保健センターオリジナルキャラクターの「頑張ったねシール」、「表彰状シール」を配布した。	○	区域の学校全体で取り組むことで、ノート・シールを一括購入することが可能となり、費用を抑えることができた。	
⑤自立発展性	総合評価				
△ 区としての課題をふまえ、区内の児童・生徒が家庭学習にこれまで以上に取り組めるよう、区の支援策としてノート等の購入・配布を行ったものである。家庭での学習習慣が定着すれば、学校と家庭が連携した自立的な取組となることが期待できる。	◎ 本事業により、区内の全小中学校が自主学習ノートに取り組む契機となった。各学校では「頑張ったねシール」等をノート指導において活用することや見本となるノートを校内に掲示すること等により、児童生徒の取組意欲を高め、家庭学習習慣の定着に継続的に取り組んでいる。				
今後の方向性(課題、改善提案等)					
拡充 継続 見直し 廃止	家庭での学習習慣の定着は、短期間では困難であるため、一定期間、継続して取り組む必要がある。 また、学校として自主学習ノートの利用が定着しつつあるが、今後は学校と連携しながら保護者や関係団体、地域の協力も得ることが必要である。				